

高齢者の地域参加促進施策の令和3年度の取組みについて

1 主 旨

高齢者人口やひとり暮らし高齢者の増加に伴い、社会的孤立の防止や健康寿命の延伸に向けた健康づくりなどが喫緊の課題となっている。

区では、令和2年度より身近な地域での、「居場所づくり」「健康づくり」「地域参加・地域貢献」「知と学び」「就労・就業支援」の5つのプロジェクトで構成する「高齢者の地域参加促進施策」に全庁挙げて取り組んでいる。コロナ禍による引きこもり防止やフレイル予防の点も踏まえ、令和3年度の取組みを以下のとおり取りまとめた。

2 取組みの視点

- ① 長寿社会を背景に、多様な高齢者の暮らしに着目した施策展開とする。
- ② 身近な場所でのサービス提供や活動支援とする。
- ③ コロナ禍における引きこもり防止やフレイル予防に取り組む。
- ④ 一過性の取組みでなく、継続性のある施策とする。
- ⑤ 社会状況の変化や高齢者ニーズに柔軟に対応する。

3 具体的取組み（全体像 別紙1のとおり）

（1）「居場所づくり」プロジェクト

- ① 高齢者の新たな居場所づくり（モデル取組み）
 - 1 千歳温水プールでの参加型プログラムの提供
 - 2 ひだまり友遊会館での多様な体験型学びプログラムの試行
- ② 気軽に立ち寄れる居場所の開発
- ③ 居場所についての情報誌発行とアプリ等による情報提供

（2）「健康づくり」プロジェクト

- ① 地域における高齢者向け健康づくりの取組み支援
- ② 高齢者の団体活動時の健康づくりの定着支援
- ③ 介護予防普及啓発講座の充実
- ④ 一般介護予防事業

（3）「地域参加・地域貢献」プロジェクト

- ① 「おたがいさまbank」とAIシステム（GBER）を活用したシニアマッチング事業の実施（高齢者の知識と経験等を活かした地域活動支援）
- ② 生涯現役ネットワークの地域貢献活動への支援
- ③ 高齢者クラブの活動支援

（4）「知と学び」のプロジェクト

- ① ひだまり友遊会館での多様な体験型学びプログラムの試行（再掲）

（5）「就労・就業支援」プロジェクト

- ① 三軒茶屋就労支援センターでの総合的な就労支援
- ② （公社）世田谷区シルバー人材センターでの就労
- ③ AIを活用したシニアマッチング事業（GBER）の実証実験と本格実施

4 概算経費（令和3年度予算）

総額 84,409千円（特定財源 51,163千円）

※介護保険事業会計（39,422千円）を含む。

5 推進体制

総合支所、保健福祉センター、生活文化政策部、地域行政部、スポーツ推進部、経済産業部、保健福祉政策部、高齢福祉部、世田谷保健所等に加え、（社福）世田谷区社会福祉協議会、（社福）世田谷ボランティア協会、（公財）世田谷区保健センター、（公財）世田谷区スポーツ振興財団、（公財）世田谷区産業振興公社、（公社）世田谷区シルバー人材センター等の関係団体によるPTにより推進する。（事務局：生活文化政策部・高齢福祉部）

6 その他

- 本プロジェクトは、現在策定を進めている第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、進行管理を行う。
- 老人休養ホーム「ふじみ荘」の利用者については、現在バス見学会や個別相談会などを実施しているが、引き続き実施し、他の公共施設の利用案内と勧奨を行う。

<参考>ふじみ荘利用者による他施設バス見学会等の実施状況

(1) バス見学会等の実施状況

- バス見学会 令和2年12月22日（火）
千歳温水プール 5名参加、大蔵第二運動場 4名参加
令和3年 1月 7日（木）
千歳温水プール 3名参加、大蔵第二運動場 1名参加
令和3年 1月25日（月）
千歳温水プール 2名参加、大蔵第二運動場 2名参加
- 個別相談会 令和2年12月22日（火） 1名参加
令和3年 1月 7日（木）・25日（月） 参加なし

○ 参加者の声

<千歳温水プール>

- お風呂に手すりを付けてほしい。一度に利用できる人数枠を広げてほしい（2名定員→4名定員）。
- 玉川地域から通えるよう送迎バスを出してほしい。
- レストランメニューを増やしてほしい。

<大蔵第二運動場>

- 参加してよかった。ぜひ利用してみたい。

<個別相談会>

- 自宅近くの活動場所はどこにあるのか。

- 今後の予定 令和3年 2月9日（火）、17日（水）、19日（金）、3月8日（月）
見学先（千歳温水プール、大蔵第二運動場、せたがやがやがや館など）、
個別相談会

(2) 高齢者の地域参加促進施策に関する懇談会の開催状況

- 令和2年12月25日（金）15名参加
- 令和3年 1月27日（水） 5名参加

○ 参加者の声

- 通いの場は自宅から300m～500mの所にあるとよい。
- 体を動かすと成果がある。体操できるところがあるとよい。
- 居場所は目的があっていくものであり、行く機会となるような仕掛けが大事である。

※今後も懇談会やアンケートの実施など、引き続き、高齢者のご意見を聞いていく。

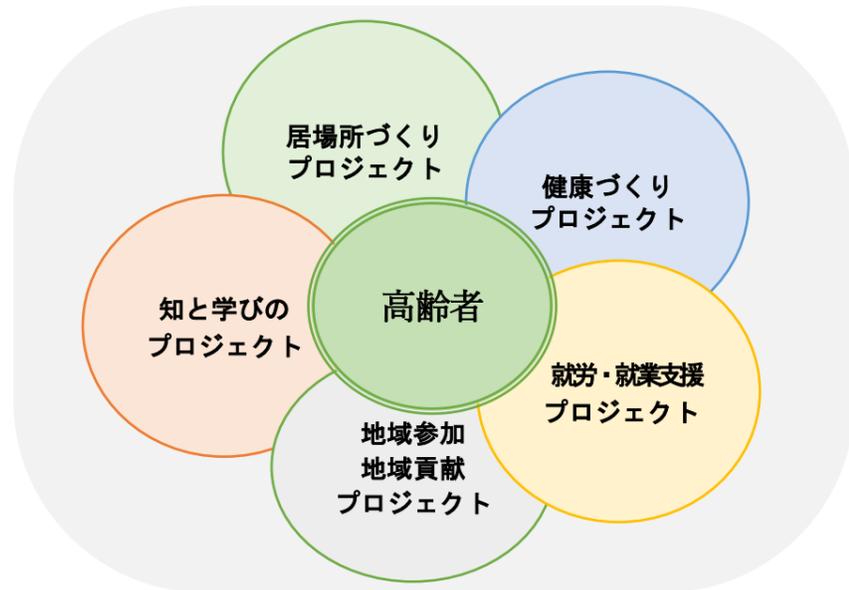
1 主旨

高齢者人口やひとり暮らし高齢者の増加に伴い、社会的孤立の防止や健康寿命の延伸などに加え、今般のコロナ禍では安全で安心な高齢者の健康づくりの推進が喫緊の課題となっている。区では、令和2年度より、身近な地域での「居場所づくり」「健康づくり」「地域参加・地域貢献」「知と学び」「就労・就業支援」の5つのプロジェクトで構成する「高齢者の地域参加促進施策」を、関係団体の協力のもと全庁挙げて取り組んでいる。コロナ禍による引きこもり防止やフレイル予防の点も踏まえ、令和3年度の取組みを以下のとおり取りまとめた。

2 令和3年度の取組みの視点

- 長寿社会を背景に、多様な高齢者の暮らしに着目した施策展開とする。
- 身近な場所でのサービス提供や活動支援とする。
- コロナ禍における引きこもり防止やフレイル予防に取り組む。
- 一過性の取組みでなく、継続性のある施策とする。
- 社会状況の変化や高齢者ニーズに柔軟に対応する。

3 「5つのプロジェクト」



4 推進体制（PT）

- 区：総合支所、保健福祉センター、生活文化政策部、地域行政部、スポーツ推進部、経済産業部、保健福祉政策部、高齢福祉部、世田谷保健所等
- 関係団体：(社福)世田谷区社会福祉協議会、(社福)世田谷ボランティア協会、(公財)世田谷区保健センター、(公財)世田谷区スポーツ振興財団、(公財)世田谷区産業振興公社、(公社)世田谷区シルバー人材センター等
- 事務局：生活文化政策部、高齢福祉部

(1)「居場所づくり」プロジェクト

<ビジョン>

多様な高齢者の暮らしや活動に着目するとともに、加齢による身体機能の低下などを踏まえ、ひとりで、気軽に訪れ、寛げ、話しのできる憩いの場を諸々の資源を活用し提供する。地域包括ケアの地区展開を踏まえた取組みとする。

<取組み>

- ① 高齢者の新たな居場所づくり（モデル取組み）（新）
(生活文化政策部)
- 主旨
「千歳温水プール健康運動室」及び「ひだまり友遊会館」において、指定管理者の取組みに加え、(社福)社会福祉協議会による参加・体験型プログラムの提供を通じ、高齢者が気軽に利用でき、学び、交流できる環境を整え、高齢者の新たな居場所のモデルとなるよう取り組む。
- 内容
各施設の独自の取組みに加え、(社福)社会福祉協議会が参加・体験型の各種プログラムを提供し、総体として高齢者の居場所のモデルとなるよう取り組む。実施状況を評価しながら、地域展開を検討する。
- 事業実施 (社福)世田谷区社会福祉協議会
各指定管理者
- 事業費 6,910千円

- ①-1 千歳温水プールでの参加型プログラムの提供
(生活文化政策部・スポーツ推進部)
- 内容
千歳温水プール「健康運動室」において、健康体操プログラム（月2回）、座禅&ヨガ体験教室（年4回）、及び新たな参加型プログラム（週2日程度）を提供する。
- 事業実施 (公財)世田谷区スポーツ振興財団(指定管理者)
(社福)世田谷区社会福祉協議会
- 事業費 2,500千円(指定管理者事業分)
- ①-2 ひだまり友遊会館での多様な体験型学びプログラムの試行（新）
(生活文化政策部)
- 内容
高齢者が気軽に訪れ、体験し、学ぶ機会を提供するため、(社福)社会福祉協議会が生涯現役ネットワーク等と連携し、高齢者の経験や能力を活かしたプログラムなどを提供し、仲間づくりや高齢者の居場所づくりを試行する。
- 事業実施 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
(指定管理者)、(社福)世田谷区社会福祉協議会
- 主なスケジュール
令和3年4月～ 仕組み・プログラム検討
6月～12月 大規模改修工事
令和4年1月～3月 試行
令和4年度 本格実施

② 気軽に立ち寄れる居場所の開発

- (総合支所・生活文化政策部・保健福祉政策部・高齢福祉部等)
- 主旨
高齢者の孤立防止や仲間づくりの機会となるよう、各種地域資源の連携と活用により、多様な高齢者が気軽に訪れ、寛げ、話しができる場づくりを進める。
 - 地域資源
 - 地区会館の大広間やがやがや館などの高齢者施設ほか
 - 地域包括ケアの取組みやサロン・ミニデイなど（約300ヶ所・約650事業）
 - 「地域共生のいえ」など、(一財)世田谷トラストまちづくりによる取組み（14ヶ所・15事業）
 - 課題
 - 多種多様な居場所や活動が提供されているが、曜日限定や事前登録制となっており、「毎日」「気軽に」足を運べる場づくりが課題である。
 - 今後の対応
高齢者の居場所づくりについては、地域包括ケアを推進する中で、既に取組みが進められている地区があることから、こうした取組みを活かしつつ、常時活用できる場の確保や体制づくりなどの課題対応を関係部で検討を進める。

③ 居場所についての情報誌発行とアプリ等による情報提供（新）

- (生活文化政策部・高齢福祉部)
- 主旨
高齢者の居場所となっている多種・多様な場や活動を集約し、まちづくりセンター等に配布し、居場所の案内に活用していく。また、身近な地域での居場所の検索ができるよう、「高齢・介護応援アプリ」等の活用を進める。
 - 情報誌 発行部数 6,000部
配布先 まちづくりセンター・あんしんすこやかセンター、図書館等
 - 「高齢・介護応援アプリ」の活用
「高齢・介護応援アプリ」を入り口に、シニアマッチング事業(GBER)に登録した情報等から身近な地域での居場所や健康づくり事業の情報を得られる仕組みづくりを進める。
 - 事業費 2,041千円

(2)「健康づくり」プロジェクト

<ビジョン>

世田谷区民の平均寿命は全国でも上位にあるが、健康寿命は平均寿命に比べ低位にあり、23区でも中位であるなど、健康寿命の延伸が課題となっている。また、コロナ禍における引きこもり防止やフレイル予防が喫緊の課題となっていることから、地域や多様な資源が連携し、継続的に取り組める高齢者向けの健康づくり施策を展開する。

＜取組み＞

- ① **地域における高齢者向け健康づくりの取組み支援（新）**
（生活文化政策部・スポーツ推進部）
- 主 旨
コロナ禍における引きこもり防止やフレイル予防のため、地域の高齢者を対象にラジオ体操や健康体操（栄養指導などを組み合わせる）を公園等で実施する団体を支援し、主体的な健康づくりや仲間づくりを促進する。
 - 内 容
各地区1ヶ所以上の実施をめざす（現在：9地区13ヶ所実施）。活動が少ない玉川、砧、烏山の地域に力点を置く。
 - 実施主体 高齢者クラブ、(公財)世田谷区スポーツ振興財団
 - 協 力 区内大学、区内スポーツ団体など
 - 事業費 2,220千円
【内訳】生活文化政策部 600千円
スポーツ推進部 1,620千円
- ② **高齢者の団体活動時の健康づくりの定着支援（新）**
（生活文化政策部・世田谷保健所）
- 主 旨
コロナ禍での引きこもり防止やフレイル予防に向け、高齢者団体に対し健康づくり指導を行うとともに、団体活動時の運動の習慣化の働きかけを行う。
 - 内 容
高齢者クラブのほか、高齢者が集まる場に指導員等が訪問し、軽体操等の指導を行うほか、習慣化を働きかける。
 - 指 導 (公財)世田谷区保健センター運動指導員など
 - 事業実施 (公財)世田谷区保健センター
 - 事業費 3,485千円
- ③ **介護予防普及啓発講座の充実（拡）**（スポーツ推進部・高齢福祉部）
- 主 旨
あんしんすこやかセンターが実施している介護予防の普及啓発を目的とした講座に、大学や(公財)スポーツ振興財団の協力者などを派遣し、内容の充実を図る。
 - 内 容 区内2ヶ所程度
 - 事業費 600千円
- ④ **一般介護予防事業**（高齢福祉部）
- 内 容
65歳以上の方を対象に、介護予防に関する普及啓発講座である「はつらつ介護予防講座（月2回×28地区のあんすこ）」「まるごと介護予防講座（6回×地区会館等の20会場）」「口腔ケア講座（8回×8会場）」を実施している。
 - 事業費 39,422千円 ※介護保険事業会計

(3) 「地域参加・地域貢献」プロジェクト

＜ビジョン＞

高齢者の経験や能力、活動意欲と地域で指導者や活動の支援を求める団体などを結び付け、高齢者の活動の機会を拡充するとともに、地域活動や団体活動の活性化を図る。また、地域への貢献意欲のある高齢者を募集し、つなぎ、活動体としていく。

＜取組み＞

- ① **「おたがいさまbank」とAIシステム（GBER）を活用したシニアマッチング事業の実施（新）**
（高齢者の知識と経験等を活かした地域活動支援）
（生活文化政策部・経済産業部）
- 主 旨
高齢者の経験や能力と講師などを求める団体を結び付け、高齢者の活動機会の充実と団体活動の活性化を図る。「おたがいさまbank」とAIシステム（GBER）を活用して(社)福せたがやボランティア協会が運用し実施する。
 - 仕 組 み
 - ボランティア活動を希望する方（おたがいさまbank登録）と講師などを求める団体情報を、AIシステム「GBER」でマッチングし、ボランティア活動を希望する方にお知らせする。
 - 受け取った情報からボランティア希望者、求人側が相互に最適な人材等を選択し、直接活動の申込みを行う。また、ボランティアセンター等が人材マッチングのコーディネートを行う。
 - 事業費 24,231千円
【内訳】生活文化政策部 6,389千円
経済産業部 17,842千円（再掲）
 - 「おたがいさまbank」登録者数 2,501人
- ② **生涯現役ネットワークの地域貢献活動への支援（拡）**
（生活文化政策部）
- 主 旨
多様な高齢者等の活動団体が参加する「生涯現役ネットワーク」加入団体を対象に、地域貢献や高齢者の生活に資する活動を支援する（例：IT活用講座など）。
 - 内 容
地域に向けた貢献活動（講座開催PR等）への補助を含めた支援を行う。
 - 事業費 3,000千円
- ③ **高齢者クラブの活動支援**（生活文化政策部）
- 内 容
高齢者クラブの運営負担の軽減と活性化のため、助成金申請等の書類の簡略化やIT研修等による活動支援を行う。

(4) 「知と学び」のプロジェクト

＜ビジョン＞

高齢者の学びの意欲と孤立の防止、仲間づくりを促進するため、生涯大学等既存の学びの機会に加え、ひだまり友遊会館において新たに参加・体験型プログラムを提供する。

＜取組み＞

- ① **ひだまり友遊会館での多様な体験型学びプログラムの試行（新）**
※（1）居場所プロジェクト①-2に記載（生活文化政策部）

(5) 「就労・就業支援」プロジェクト

＜ビジョン＞

「世田谷区高齢者ニーズ調査」の推計値では、約9千5百人の方が働きたいと考えており、一人でも多くの方が働けるようにするため、(公財)世田谷区産業振興公社三軒茶屋就労支援センターでの総合的な就労支援や(公社)世田谷区シルバー人材センターの取組みに加え、仕事の種類を増やし、AIを活用した多様な就業マッチングの研究及び実証実験を行い、本格実施を目指す。

＜取組み＞

- ① 三軒茶屋就労支援センターでの総合的な就労支援
② (公社)世田谷区シルバー人材センターでの就労
③ **AIを活用したシニアマッチング事業（GBER）の実証実験と本格実施（新）**（経済産業部）
- 主 旨
生業から生きがいづくりまで、シニアの幅広い就労ニーズに応える支援を行うため、一時的な仕事やボランティアなど仕事のバリエーションを増やし、短時間労働や在宅労働など多様な就業マッチングが可能となるAIの活用研究及び実証実験から本格実施をめざし、高齢者が多様な形で就業・就労し、地域で活躍できる環境を創出する。
 - 事業実施 東京大学先端科学技術研究センター
（システム開発と管理・改修、就労ニーズの研究等）
Polaris（利用者向け事務局運営、求人開拓、セミナーの開催等）
 - 事業費 17,842千円（研究委託料、運営委託料）